

令和5年度事業報告

I. 総務に関する事項

1. 会 議

(1) 総 会

第45回 通常総会

令和5年6月20日（火）午前11時00分から大津市梅林一丁目14番17号「滋賀県農業共済会館3階大会議室」において開催し、下記議案を付議、原案通り議決された。

第1号議案 令和4年度事業報告及び収支決算（案）について

第2号議案 令和5年度会費及び会費徴収（案）について

第3号議案 役員を選任（案）について

報 告 事 項 令和4年度公益目的支出計画実施報告書（案）について

(2) 理 事 会

第1回理事会

令和5年6月20日（火）午前10時00分から大津市梅林一丁目14番17号「滋賀県農業共済会館3階大会議室」において開催し、総会付議事項及び公益目的支出計画実施報告書等について協議決定した。

第2回理事会

令和5年6月20日（火）通常総会終了後、会長理事及び副会長理事の選定について協議決定した。

第3回理事会

令和6年3月15日（金）午後2時00分から大津市梅林一丁目14番17号「滋賀県農業共済会館3階大会議室」において開催し、令和5年度事業報告及び見込収支（案）、令和6年度事業計画及び収支予算（案）について協議決定した。また、一般社団法人滋賀県植物防疫協会の今後のあり方に関する検討会中間報告を行い、継続して検討を進めることが了承された。

(3) 監 事 会

令和5年5月26日（金）午後2時00分から大津市梅林一丁目14番17号「滋賀県農業共済会館2階ミーティングルームA」において開催し、令和4年度

事業実施状況及び予算執行状況について監査を受けた。

(4) 幹事会

第1回幹事会 令和5年6月9日(金)「滋賀県農業共済会館3階大会議室」において開催し、第1回理事会付議事項、令和4年度事業報告及び収支決算(案)、令和5年度会費及び会費徴収(案)等について協議した。

第2回幹事会 令和6年2月28日(水)「滋賀県農業共済会館3階大会議室」において開催し、第3回理事会付議事項、令和5年度事業の執行状況並びに令和6年度事業計画及び収支予算(案)等について協議した。

(5) 滋賀県植物防疫協会の今後のあり方に関する検討会

第1回 令和5年8月25日(金)「滋賀県農業共済会館2階中小会議室」において開催し、公益目的支出計画完了時までの事業運営、完了後の事業の移行等継続方策について協議した。

第2回 令和5年11月9日(木)「滋賀県農業共済会館2階中小会議室」において開催し、植物防疫協会の今後の収支見通しについて、農薬試験及び共同防除事業の移行時期、移行先について協議した。

第3回 令和6年2月14日(水)「滋賀県農業共済会館2階中小会議室」において開催し、植物防疫協会を継続運営するための方策について協議した。

2. 会 員

令和5年度末の会員数は42団体であった。

正会員 12団体(前年度12団体)

賛助会員 30団体(前年度31団体)

会費区分	収入決算額(円)
正会員	1,760,000
賛助会員	740,000
合計金額	2,500,000

II. 植物防疫推進事業に関する事項

1. 共同防除事業推進会議

共同防除事業推進会議並びに無人ヘリ防除安全運航対策会議

令和5年6月28日(水)JA全農しが野洲総合センター会議室において、農薬危害防止運動、5年産水稻生育と病虫害発生状況について協議し、引き続き

無人ヘリコプター・ドローンの飛行安全対策について協議した。

2. 情報誌の発行、配布

「滋賀植物防疫」を発行し関係機関、団体等に配布した。

第69巻第1号（令和5年度第45回通常総会概要、役員改選結果等）

第69巻第2号（令和5年度共同防除事業実績、農薬展示ほ成績書等）

支出区分	作成部数(部)	作成時期
1号	75	7月
2号	75	3月
合計	150	

III. 農薬委託試験及び展示ほ受託事業に関する事項

1. 委託試験事業

新しく開発された剤について、農薬登録に必要な試験成績を作成、検討評価し、優れた防除法の確立に貢献した。

- (1) 一般社団法人日本植物防疫協会から水稻、野菜、果樹、花き、茶等の殺菌・殺菌殺虫剤20剤を受託し、農業技術振興センターに委託実施した。
- (2) 公益財団法人日本植物調節剤研究協会から水稻除草剤5剤を受託し、農業技術振興センターに委託実施した。

2. 農薬展示ほ事業（技術確認圃）

新しい農薬の実証展示、普及性の検討を行い、その結果を県防除基準への登載に向けた資料とした。

- (1) 公益財団法人日本植物調節剤研究協会並びに賛助会員から水稻・麦・大豆・野菜の除草剤及び殺菌殺虫剤の効果確認の展示ほ15剤・25件を受託し、各地域農業農村振興事務所農産普及課等の協力を得て実施した。

区 分	収入決算額 (円)	支出決算額 (円)
日植防受託収入	5,047,900	県委託費 6,057,700 諸謝金 125,000
日植調受託収入	924,000	
展示ほ受託収入	1,111,000	
日植防助成金収入	100,980	
合計金額	7,183,880	6,182,700

(2) 展示ほ設計検討会（4月19日）、水稲除草剤現地巡回検討会（6月23日）、水稲除草剤成績検討会（7月27日）、殺菌・殺虫剤成績検討会（12月4日）を開催し、実用性の高い薬剤については、「県農作物病虫害雑草防除基準」に登載されることとなった。

3. 農薬委託試験等事業運営委員会

令和6年3月11日（月）に農業技術振興センター大会議室において、令和6年度農薬展示ほ設置運営等について協議した。

IV. 共同防除事業に関する事項

1. 無人ヘリコプター、ドローン防除

(1) 無人ヘリコプター防除は、39実施団体等で18,041haが実施され、このうち20団体から委任を受け、水稲2,181ha、麦1,707ha、大豆427haと合わせ4,315ha（前年対比82.0%944ha減）を受託した。

無人ヘリコプター防除

() は前年度実績

作物	協会受託	受託割合	全 県
水 稲	2,181ha (2,736)	26.2%	8,324ha (9,345)
麦	1,707 (2,017)	27.1	6,291 (6,216)
大 豆	427 (506)	14.5	3,426 (2,552)
合 計	4,315 (5,259)	23.9	18,041 (18,113)

ドローン防除

() は前年度実績

作物	協会受託
水 稲	78ha (129)
麦	82 (137)
大 豆	0 (0)
合 計	160 (266)

区 分	収入決算額 (円)	支出決算額 (円)
散布受託収入	76,314,095	
防除業者負担金収入	2,237,950	
実施団体負担金収入	447,537	
散布委託費		76,314,095
事務委託費		550,000
合 計 金 額	78,999,582	76,864,095

(2) 無人ヘリコプター防除安全運航対策会議の開催

第1回 令和5年 6月28日 (水)

無人ヘリ・ドローン飛行安全対策と農薬の適正散布について協議した。

第2回 令和5年 9月27日 (水)

無人ヘリ・ドローン適正防除と安全対策、令和5年度無人ヘリ委託防除の実績と課題について協議した。

(3) 第23回 無人ヘリ飛行技術競技会の開催

無人ヘリオペレーターの飛行技術の向上と安全啓発及び会員相互の交流を図るため、令和5年10月20日 (金) に、近江八幡市津田町の近江八幡市立運動公園グラウンドにおいて、飛行技術競技会を開催した。

競技には、11チームが出場し飛行技術を競った。入賞者には賞状とカップ(盾)、副賞を授与した。

[競技会結果]

優勝 寺島 裕人・佐藤 颯 (共同ファーム)

準優勝 東川 和慎・田中 康仁 (TPF)

なお、11月10日 (金) 埼玉県熊谷市で開催の「第32回全国産業用無人ヘリコプター飛行技術競技大会」に県代表として優勝チームが出場し健闘した。

(4) 無人ヘリ防除に関する情報の収集と提供

【通 知】

6月9日「滋賀県無人航空機農薬散布に係る安全ガイドラインの一部改正について (通知)」(県農政水産部長)

上記の通知内容について、各無人ヘリ・ドローン防除実施関係団体等へ通知した。(6月16日)

6月15日「令和5年度農薬危害防止運動の実施について（通知）」（県農政水産部長）

【散布計画書の提出】

県内の無人ヘリコプターによる散布計画書（麦・水稲・大豆）をガイドラインの要項に基づき県を通じて農林水産省へ報告した（3月、6月、7月）。

【散布実績書の報告】

県内の無人ヘリコプターによる散布実績書（麦・水稲・大豆）をガイドラインの要項に基づき県を通じて農林水産省へ報告した（1月）。

【無人ヘリ使用周波数の混信による事故防止】

県内の無人ヘリ委託・自主防除散布計画一覧表」を麦・水稲・大豆別に作成し、散布前に各実施団体およびヘリ所有者並びに関係団体へFAX送付し、無人ヘリの使用周波数を散布者が確認し合い、混信による事故回避に努めた。（麦 4月 水稲 7月 大豆 8月）